

開発途上国の観光行政官が群馬県の観光開発から学ぶ

伊香保温泉での持続可能な観光や桐生市の観光政策に 14 か国 15 名が参加

JICA東京では、日本で観光マーケティングや観光客誘致の手法を学ぶことを目的とした研修を実施しており、開発途上国から観光行政官を受け入れています。開発途上国では、外貨獲得や雇用創出、地域開発の観点から観光客の誘致に取り組む国が多くあります。当研修では、日本での観光を使った地域振興の事例、特に観光セクターのSDGsへの貢献事例（サステナブルツーリズムなど）を中心に視察し、帰国後に彼らの国での観光開発に活かすことを目指したプログラムとなっています。



2023年度研修風景（群馬県）

今回は、(株)ホテル松本楼での宿泊体験、BCPやSDGsへの取り組みに関する講義・視察のほか、織物参考館・紫の視察や桐生市役所での桐生市の観光施策の講義を受けます。群馬県の多彩な観光資源、歴史・文化の奥深さ等を活かした観光振興について学びます。是非取材をご検討ください。

【取材可能な研修日程】※当日は研修監理員が同行し、通訳(日本語-英語)を行います。

6月27日(木)	内容	
09:00 - 10:30	【宿泊体験】 前日よりホテル松本楼に一泊し日本的な旅館での宿泊を体験。 【講義・視察】 ホテル松本楼におけるBCP・SDGs マネジメント講演会&視察会	(株)ホテル松本楼 (群馬県渋川市伊香保町伊香保164)
13:15 - 15:00	【視察】 織物参考館・紫 (ゆかり)	織物参考館・紫 (ゆかり) (群馬県桐生市東4丁目2-24)
15:20 - 17:00	【講義】 群馬県桐生市の観光ビジョン	桐生市役所 産業経済部観光交流課 (群馬県桐生市織姫町1番1号)

<研修概要>

研修コース名：観光マーケティング・プロモーション(A)(B)

研修期間：2024年6月11日～2024年7月13日(33日間)

研修参加国：モンゴル、ネパール、ペルー、ソロモン諸島、東ティモール、アルメニア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、エジプト、エチオピア、ヨルダン、コソボ、マラウイ、ザンビアの観光行政関係者 合計14名



2023年度研修時の研修の様子

取材のお申込みや本件に関するお問い合わせ先

JICA 東京 産業開発・公共政策課 香川、水野

TEL 03-3485-7630 E-mail: Kagawa.Maki@jica.go.jp、Mizuno.Haruka@jica.go.jp